



2024 年度 東京工芸大学 風工学研究拠点 共同利用・共同研究 研究集会のご案内
日本版改良藤田スケールにおける DI, DOD と被害風速の評価

竜巻の強さの尺度として世界各地で用いられてきたフジタスケール(Fujita Scale)は、被害程度の認識方法や風速の推定方法が明確でないなどの問題が指摘されており、米国では建築物等を対象として策定された改良フジタスケール(Enhanced Fujita Scale, EF スケール)が用いられています。本共同研究課題では、日本における竜巻の強度分類法として、国内の被害指標(Damage Indicator, DI)として適切なものを抽出し、それらの被害状況程度(Degree of Damage, DOD)の分類と対応する作用風速(等価風速)の適切な評価方法の共同研究を進めてきました。その成果は、「竜巻等突風の強さの評定に関する検討会(会長:田村幸雄)」に提出され、2015年12月には、気象庁から「日本版改良藤田スケール(Japan Enhanced Fujita Scale, JEF スケール)に関するガイドライン」として公表されています。その後も継続して、DI と DOD およびその風速について、より安定的に評定できるよう、被害情報の収集や被害指標(DI)の洗い出しおよび被害程度(DOD)の分析など多岐にわたる研究を行っています。

本年度の研究集会は、宮崎県で発生した被害を中心とした現地の被害状況、気象レーダーによる解析結果および構造物の被害に関する講演をいただき、今後の研究活動に活かすことを目的としております。奮ってご参加いただきたく、ご案内申し上げます次第です。

- **日付:2025年2月17日(月) 14:00 - 15:30**
- **会場:オンライン (zoom), 参加費無料**
- **<https://us06web.zoom.us/j/81354231492?pwd=qaOpqlGv1jb4heW2Xql5rLCXz1cqZ.1>
Meeting ID / Passcode: 813 5423 1492 / yse2hN**
- **問合せ先:東京工芸大学風工学研究拠点 (046-242-9658, jurc_office@arch.t-kougei.ac.jp)**

PROGRAM

時間	タイトル, 発表者, 所属
14:00 - 14:05	開会挨拶 山内 洋(気象研究所)
14:05 - 14:30	令和6年台風第10号に伴い多数発生した竜巻の親雲 山内 洋(気象研究所)
14:30 - 14:55	令和6年台風第10号に伴い宮崎県で発生した突風について 川崎 孝(気象庁)
14:55 - 15:20	令和6年台風第10号に伴う竜巻による宮崎市内での構造物被害 友清 衣利子(熊本大学)
15:20 - 15:25	2024年度の研究報告 金 容徹(東京工芸大学)